

算数 小学校 第6学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率	
	大問	小問	通番		考え方	表現・処理	知識・理解		
数と計算	①	1	1	分数×分数の計算をすることができる。		○		90.1	
		2	2	分数÷分数の計算をすることができる。		○		90.2	
		3	3	分母のちがう分数のたし算の計算をすることができる。		○		63.9	
		4	4	分母のちがう分数のひき算の計算をすることができる。		○		76.6	
	②	1	5	約数の意味がわかっている。			○	85.2	
		2	6	問題を解くために、公倍数を用いて考えることができる。	○			75.7	
			7	公倍数を求めて問題を解くことができる。		○		79.0	
	③		8	分母のちがう分数の大小の比べ方を考えることができる。	○			70.0	
			9	分母のちがう分数の大小を比べることができる。		○		78.3	
	④		10	分数倍の大きさの求め方を考えることができる。	○			71.9	
			11	分数倍の大きさを求めることができる。		○		75.7	
	⑤		12	分数×分数の計算の仕方を考えることができる。	○			78.1	
量と測定	⑥		13	速さの比べ方を考えることができる。	○			86.7	
			14	速さの意味がわかっている。			○	75.1	
	⑦	1	15	およその形を考えることができる。	○			59.1	
		2	16	およその面積を求めることができる。		○		58.2	
	⑧	1	17	1 cm ³ の立方体の何個分かで体積が求められることがわかっている。			○	80.6	
		2	18	1 0 0 0 cm ³ が1 lであることがわかっている。			○	48.9	
	⑨		19	直方体が組み合わさった立体の体積の求め方を考えることができる。	○			70.7	
	図形	⑩		20	底面の形と位置関係がわかっている。			○	71.1
		⑪	1	21	展開図から組み立てた立体の名前がわかっている。			○	55.3
2			22	展開図を組み立てたときの、面の位置関係がわかっている。			○	76.1	
	3	23	展開図をもとに辺の重なりを見つけ、高さにあたる辺の長さを考えることができる。	○			72.2		
数量関係	⑫		24	平均の求め方がわかっている。			○	84.2	
			25	平均を求めることができる。		○		78.0	
	⑬		26	比についての問題の解き方を考えることができる。	○			78.4	
			27	比についての問題を解くことができる。		○		80.0	